

Model Pengayaan Keterampilan Berbahasa Jepang Melalui Media Sosial Instagram
(Studi Kasus Terhadap Kelompok Mahasiswa Tingkat III Departemen Pendidikan Bahasa Jepang FPBS UPI)

Ima Himawati Fauziyah

1100553

ABSTRAK

Penelitian ini merupakan penelitian mengenai model pengayaan keterampilan berbahasa Jepang, yaitu keterampilan menulis melalui media sosial Instagram yang diujicobakan pada kelompok mahasiswa tingkat III Departemen Pendidikan Bahasa Jepang FPBS UPI. Penelitian ini bertujuan untuk memperoleh model pengayaan keterampilan berbahasa Jepang melalui media sosial Instagram, dengan mendeskripsikan pelaksanaan model tersebut, mendeskripsikan hasil pelaksanaan model tersebut dan mendeskripsikan tanggapan kelompok mahasiswa yang menjadi sampel penelitian terhadap pelaksanaan model pengayaan tersebut. Penelitian ini menggunakan metode campuran (*mixed method*) yaitu metode kuantitatif dan metode kualitatif. Objek penelitian ini adalah mahasiswa tingkat III tahun akademik 2014/2015 Departemen Pendidikan Bahasa Jepang FPBS UPI dengan jumlah sampel sebanyak 12 orang. Pelaksanaan model ini dilaksanakan dengan cara mengunggah 4 foto yang ke dalam Instagram yang kemudian di komentari oleh sampel penelitian. Pengumpulan data berupa komentar tertulis. Berdasarkan data tersebut setelah diklasifikasikan dan dianalisis sesuai dengan penggunaan huruf dan kosakata, ketepatan penggunaan pola ungkapan dan ketepatan penggunaan ketepatan gramatika, diketahui sebanyak 16,7% sampel penelitian memiliki kemampuan untuk memperkaya keterampilan menulis berbahasa Jepang pada tingkat sangat tinggi, 75% memiliki kemampuan untuk memperkaya keterampilan berbahasa Jepang pada tingkat tinggi dan sebanyak 8,3% memiliki kemampuan untuk memperkaya keterampilan menulis berbahasa Jepang pada tingkat rendah. Berdasarkan hasil angket, model pengayaan keterampilan berbahasa Jepang khususnya keterampilan menulis melalui media sosial Instagram ini dianggap cukup bagus untuk digunakan,

Kata Kunci : model pengayaan, keterampilan menulis, media sosial, Instagram,

The Use of Instagram as Japanese Language Skill-Enrichment Model

**(A Case Study Towards 3rd Year Students of Department of Japanese Language Education,
Faculty of Languages and Arts Education, UPI)**

ABSTRACT

The present study examines writing skill through the use of Instagram as a Japanese language skill-enrichment model. The model is implemented towards third-year students of Department of Japanese Language Education, Faculty of Languages and Arts Education, UPI. The study aims at acquiring language-enrichment model through the use of Instagram by describing the implementation of the model, results from the implementation, as well as students' response towards the implementation of such model. Mixed method is employed in the study, combining quantitative method and qualitative method. Twelve third-year students (2014/2015) of Department of Japanese Language Education become the object for this present study. The model is implemented through the uploading of four photos of different themes to Instagram, which later would have to be commented by the students within 1 or 2 days. Data collected are 48 comments written by 12 students, taken from 4 photos uploaded. Data are classified and analyzed by considering several factors: (1) the use of Japanese characters and vocabularies, (2) the accuracy of idiom patterns usage, and (3) the accuracy of grammar. The analysis shows that 16.7% of the students indicate the ability to enrich their Japanese language skill at very high level, 75% of the students at high level, and 8.3% of the students at low level. The result from the questionnaire given to the students shows that the model implemented is a good model to use. Besides the interest factor, the use of Instagram allows the students for showing their language skill, particularly writing skill, and enriching the knowledge of Japanese language through the visual stimuli (e.g., photos uploaded to Instagram).

Keyword: enrichment model, writing skill, social media, Instagram

ソーシャル・メディアのインスタグラムによる、日本語能力向上のモデル
—インドネシア教育大学言語文学教育学部日本語教育学科の3年生に対するケーススタ
ディー—

イマ・ヒマワティ・ファウジヤー

1100553

要旨

本研究ではインドネシア教育大学言語文学教育学部日本語教育学科の3年生12名を対象に、ソーシャル・メディアのインスタグラムを利用し、日本語を書く能力向上のモデルの実施を行った。本研究目的はソーシャル・メディアのインスタグラムを利用し、日本語を書く能力向上のモデルを知るためであり、その向上のモデルの実施を説明することであり、その向上のモデルの結果を説明することであり、それに対象者の印象を知るためである。本研究の方法は *mixed methodology*法であり、定性法と定量法である。このモデルを実施は、インスタグラムの4つ写真をアップロードし、対象者はその写真にコメントすることである。描くコメント数は48文書であり、それらはデータとして分析する。分析した後で、文字、語彙、表現、文法を分類する。分析の結果に従って、優れるレベル人は16.6%であり、良いレベル人は75%であり、中レベル人は8.3%が分かる。アンケートの結果に従って、ソーシャル・メディアのインスタグラムを利用し、日本語を書く能力向上のモデルの実施が立派なモデルである。

キーワード：向上のモデル、書く能力、ソーシャルメディア、インスタグラム

ソーシャル・メディアのインスタグラムによる、日本語能力向上のモデル
—インドネシア教育大学言語文学教育学部日本語教育学科の3年生に対する
ケーススタディー—

イマ・ヒマワティ・ファウジヤー

1100553

A. はじめに

「日本語」の学習は、一般的に学習者がコミュニケーションすることができる。技術の開発は成長すると共に、日本語学習者も増加することである。その成長する技術の開発の中には通信技術で、それはインターネットのである。インターネットの中でソーシャル・メディアの成長が言語能力の増加するために使用するのも可能性が高いと思う。

最近、一番人気があるソーシャル・メディアの中インスタグラムがある。インスタグラムは簡単な画像共有アプリケーションである。デジタル画像を撮影し、色んな情報を共有し、またコメントすることができる。しかし、いまだに、インスタグラムというアプリケーションは写真をアップロードするしかないと思う。観察に従って、筆者は教育のためにインスタグラムを役に立ちたいと思って、その方法は日本語能力を上達するための向上モデルを作って、とくに日本語学習の書く能力を上達することである。その理由でこの研究を行うことにしました。

B. 研究の目的

上記のはじめに基づいて、本研究の目的は、ソーシャル・メディアのインスタグラムを利用し、日本語を書く能力向上のモデルを知るためであり、その向上のモデルの実施を説明することであり、その向上のモデルの結果を説明することであり、それに対象者の印象を知るためである。

C. 研究の方法

本研究の方法は *mixed methodology* 法であり、定性法と定量法である。対象者はインドネシア教育大学言語教育文学学部日本語教育学科の2012年の3年生の12名である。

アンケートの分析は次のようである：

$$P = \frac{f}{N} \times 100\%$$

P : 答え者に答え回数の割合

F : 答えの答え数

N: 答え者数

D. データ分析と考察

このモデルを実施は、インスタグラムの4つ写真をアップロードし、対象者はその写真にコメントすることである。描くコメント数は48文書であり、それらはデータとして分析する。分析した後で、文字、語彙、表現、文法を分類する。分析の結果に従って、優れるレベル人は16.6%であり、良いレベル人は75%であり、中レベル人は8.3%が分かる。

本研究で使用したアンケートは、研究の終了に配布させた。このアンケートの目的は、ソーシャル・メディアのインスタグラムを利用し、日本語を書く能力増加のモデルに対して、対象者の印象を知るためである。

1番～5番の質問は、インスタグラムを利用について。全部の対象者はインスタグラムを良く利用すると言う。

6番～7番の問題は、インスタグラムの機能によって、書く能力向上のためである。

8番～10番の問題は、ソーシャル・メディアのインスタグラムによって、対象者の印象を知るためである。対象者は、ソーシャル・メディアのインスタグラムを利用し、日本語を書く能力増加のモデルの実施が良いモデルであると言う。

E. おわりに

本研究でも、長所と短所がある。本研究の長所は、インスタグラムと言うソーシャルメディアは書く能力で創造力を増加することができ、日本人と話すことができ、それにどこでもいつでもやることができる。

本研究では、短所がある。最初、対象者は少ないであり、インスタグラムでアップロードの写真はあまり突き動かさずと思う。最後は、同じ研究を行ったら、この研究は、もっと開発されるべきである。

分析の研究の結果に従って、優れるレベル人は16.6%であり、良いレベル人は75%であり、中レベル人は8.3%が分かる。アンケートを分析した結果に従って、ソーシャル・メディアのインスタグラムを利用し、日本語を書く能力増加のモデルの実施が良いモデルである。

この研究ため、ソーシャルメディアを利用し、日本語能力の向上モデルを行って、日本語学習者の書く能力を上達できると知ることである。それに、作文の授業にこの研究の結果を適用することができる。

F. 参考文献

- Sugiyono. (2012). *Metode Penelitian Kuantitatif Kualitatif dan R&D*. Bandung: Alfabeta.
- Sutedi, Dedi. (2011). *Penelitian Pendidikan Bahasa Jepang, Panduan bagi Guru dan calon Guru dalam meneliti Bahasa Jepang dan Pengajarannya*. Bandung: Penerbit Humaniora.